

# 第68回近畿児童福祉施設スポーツ大会

## 「京都市大会」

### フットサル競技

主催 近畿児童養護施設協議会  
第68回近畿児童福祉施設スポーツ大会実行委員会  
会期 令和元年8月20日(火)・21日(水)  
会場 ハンナリーズアリーナ(京都市体育館) (宿泊施設/花園会館)



共催 京都市 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県  
奈良県 和歌山県 大阪市 堺市 神戸市

協賛 大塚製薬株式会社 株式会社京都パープルサンガ

後援助成 産経新聞厚生文化事業団 京都新聞社会福祉事業団

後援 京都市社会福祉協議会

第 68 回近畿児童福祉施設スポーツ大会  
「京都市大会」 開催要綱

1. 目的 スポーツを通じて児童の健全・活発な心身と協力心を養い、同時に参加者相互の親睦と福祉の増進を図ることを目的とする。
2. 日時 令和元年 8 月 20 日（火）～21 日（水）
3. 場所 大会会場／ハンナリーズアリーナ（京都市体育館）  
京都市右京区西京極新明町 1  
TEL 075-315-3741 FAX 075-315-9191  
前泊宿舎／臨済宗妙心寺派 花園会館  
京都市右京区花園木辻北町 1-5  
TEL 075-461-5505 FAX 075-461-6825
4. 主催 近畿児童福祉施設協議会  
第 68 回近畿児童福祉施設スポーツ大会 実行委員会
5. 共催 京都市 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県  
大阪市 堺市 神戸市
6. 協賛 大塚製薬株式会社  
(50 音順) 株式会社京都パープルサンガ
7. 後援助成 産経新聞厚生文化事業団 京都新聞社会福祉事業団
8. 後援 京都市社会福祉協議会
9. 競技種目 フットサル
10. 参加チーム ・京都市及び開催府の大阪府は 2 チーム  
他の府県および政令指定都市は代表 1 チームの合計 12 チーム  
・各チームは複数施設選抜チームではなく、単独施設チームに限る  
・1 チーム選手 8 名および監督を含む職員 2 名の合計 10 名以内  
・対象児童は、小学生（3 年生以上）男女
11. 選手資格 近畿管内児童養護施設に入所している児童
12. 日程 別紙「日程表」参照
13. 試合規定 別紙「試合規定」参照
14. 表彰 優勝、準優勝および 3 位に対し、賞状とカップ等を授与  
副賞として、優勝、準優勝、3 位、その他個人賞を授与  
※上記は現時点の予定。その他参加賞等もあり。
15. 大会役員 大会会長：近畿児童養護施設協議会会長 大橋 和 弘  
実行委員長：京都市児童福祉施設長会会長 石塚 かおる  
実行副委員長：京都市児童養護施設長会 水野正美・山下恭生・吉田龍生

16. 事務局 〒605-0062  
京都市東山区林下町400-3 (担当: 平安養育院 先崎)  
TEL. 075-561-0680 FAX 075-533-3975

17. 詳細について 〒610-1132  
京都市西京区大原野灰方町249 (担当: 平安徳義会 岡部)  
TEL 075-331-0007 FAX 075-332-4003

\* 問い合わせがある場合は平安徳義会養護園の岡部までご連絡ください。

## 第 68 回 近畿児童福祉施設スポーツ大会 組織（役割分担）表

大会 会長	大橋 和弘	(近畿児童養護施設協議会 会長)
大会副会長	岡田 悟	(近畿児童養護施設協議会 副会長)
大会副会長	金子 良史	(近畿児童養護施設協議会 副会長)
大会副会長	早樫 一男	(近畿児童養護施設協議会 副会長)

大会実行委員長	石塚 かおる	(京都市児童福祉施設長会 会長)
大会副実行委員長	水野 正美	(京都市児童福祉施設長会)
大会副実行委員長	山下 恭生	(京都市児童福祉施設長会)
大会副実行委員長	吉田 龍生	(京都市児童福祉施設長会)

大会運営責任者	先崎 隆雄	(児童養護施設 平安養育院)
大会運営副責任者	岡部 奨平	(児童養護施設 平安徳義会)

宿舎（総括：先崎）		
駐 車 場	岡田・里見・奥田	
受 付	高山・野村・先崎	
部屋割り	先崎	
	事前	当日
食 事	先崎	川島
寝 具	先崎	
入 浴	先崎	安達
監督会議	岡部・神田	

競技（総括：岡部）			
コート	A	B	C
責 任 者	神田	柴田	岡本
試合進行	岡部		
得 点	安達	川島	泉田
審判へのお茶出し	松吉	荻山	重松
ボール拾い	上記の 3 名	上記の 3 名	上記の 3 名
集 計 係	橋本・座間味		
コート設営	岡部・男性スタッフ		
観覧席案内	座間味・越後・西脇		
来賓対応	石塚施設長・水野施設長・山下施設長		
受 付	山下施設長・野村・高山		
開会式設営	先崎・川島・奥田・西川・西脇		
会場設営	柴田・越後・座間味・岡田・泉田		
開会式・閉会式	岡部・先崎		
抽選会	神田・柴田・岡本・先崎・岡部		
会場警備	吉田施設長・育事協スタッフ		
駐車案内	岡田・里見・西川・奥田・安達・橋本・川島・藤原		
アナウンス	中富	音響	八木
ドリンク配布	先崎	弁当	先崎
救護	松尾・土屋		

事務局：水野正美（児童養護施設 平安養育院施設長）

## 役員名簿

役職	氏名	所属
大会会長	大橋 和弘	近畿児童養護施設協議会 会長
大会副会長	岡田 悟	近畿児童養護施設協議会 副会長
大会副会長	金了 良史	近畿児童養護施設協議会 副会長
大会副会長	早樫 一男	近畿児童養護施設協議会 副会長
大会実行委員長	石塚 かおる	つばさ園
大会実行副委員長	水野 正美	平安養育院
大会実行副委員長	山下 恭生	平安徳義会養護園
大会実行副委員長	吉田 龍生	平安徳義会乳児院
大会実行委員	古村 正哉	積慶園
大会実行委員	杉野 義人	京都聖嬰会
大会実行委員	松原 宏融	和敬学園
大会実行委員	小島 信活	迦陵園
大会実行委員	岩本 俊也	桃山学園
大会実行委員	古村 絢子	積慶園乳児院
大会運営委員長	先崎 隆雄	平安養育院
大会運営副委員長	岡部 奨平	平安徳義会養護園
大会運営委員	神田 勇哉	つばさ園
大会運営委員	奥田 雷太	つばさ園
大会運営委員	越後 顕一	桃の木学園
大会運営委員	西川 拓海	桃の木学園
大会運営委員	八木 大輔	平安養育院
大会運営委員	岡田 健吾	平安養育院
大会運営委員	安達 太郎	平安徳義会養護園
大会運営委員	岡本 順央	積慶園
大会運営委員	泉田 成翼	積慶園
大会運営委員	西脇 裕	京都聖嬰会
大会運営委員	高山 萌	京都聖嬰会
大会運営委員	橋本 成弘	和敬学園
大会運営委員	座間味 大智	和敬学園
大会運営委員	里見 廣貴	迦陵園
大会運営委員	中富 明日実	迦陵園
大会運営委員	川島 進之介	桃山学園
大会運営委員	野村 若菜	桃山学園
京都市児童施設育成事業スタッフ 8名		
看護師	松尾・土屋	

日程表

	1日目 8月20日(火)	2日目 8月21日(水)
7:00		起床・朝食(～7:30まで)
7:30		
8:00		体育館開場
8:30		各自アップ
9:00	体育館開場:スタッフ集合	
9:30		開会セレモニー/始球式/準備体操
10:00		予選ラウンド
11:00		○4ブロック(3チーム)による リーグ戦
12:00		昼食(12:15)
13:00	受付/予備抽選(抽選順を決める抽選)	決勝トーナメント
14:00	開会式 チーム紹介/抽選会	○1～3位グループに分けた トーナメント戦
15:00	交流会 (京都サンガFCとの交流)	
16:00		閉会式/解散
17:00	チェックイン	
18:00	夕食・入浴	
19:00		
20:00		
20:30	監督者会議	
22:00	就寝/消灯	

## 第68回近畿児童福祉施設スポーツ大会 試合規定

### 1. 競技種目

- ・フットサル

### 2. チーム編成

- ・1チーム5名（小学3年生～6年生男女）  
※うち1名はゴールキーパーとする。
- ・交代要員は3名までとする。
- ・監督、コーチは2名までとする。

### 3. 出場予定地域

京都市2 滋賀県 京都府 大阪府2 兵庫県 奈良県 和歌山県  
大阪市 堺市 神戸市

### 4. 試合形式

<1次ラウンド> \*別紙1参照

- ・12チームを3チームずつの4ブロックに分けて総当たり戦を行う。
- ・交流会にて抽選順を決め、各チーム代表による抽選によりブロック分けを行う。  
(大阪府、京都府のように代表が2チームの場合は、同じ府県の代表が同じブロックには入らないものとする。)
- ・各リーグで1位から3位まで順位を決め、1位のチームは決勝トーナメント、2位のチームは5位～8位決定トーナメント、3位のチームは9位～12位の決定トーナメントに進む。
- ・勝敗が並んだ場合は、①得失点差②総得点により順位を決定する。  
それでも順位が決まらない場合は、チーム代表者による抽選で順位を決定する。

<決勝トーナメント> \*別紙2参照

- ・1次ラウンドの順位別にトーナメントを行う。
- ・順位別トーナメントにより1位から12位まで順位を決める。
- ・同点の場合は、各チーム5名ずつによるPK戦を行う。それでも勝敗が決まらない場合は、サドンデス方式のPK戦により勝敗を決める。ただし決勝戦に限り、試合終了後5分間の休憩をとり、ゴールデンゴール方式の延長戦を行う。

5. 試合規則           \*別紙3参照。

6. 試合進行

- ・ 試合時間の5分前には、各コートにて待機すること。
- ・ 試合時の服装は、ユニフォームまたは体操服とし、参加登録しているゼッケン及びレガースを着用すること。
- ・ 試合進行は主催者において決定する。

7. その他

- ・ 試合を円滑に進めるために、選手の移動は速やかに行うこと。
- ・ 児童の行動には十分に配慮し、各施設職員が責任を持って把握すること。
- ・ フットサルコート内での飲食、喫煙は禁止。指定された場所で行うこと。



■1次ラウンド

別紙 1

<1ブロック>

	A	B	C
A		①	②
B	①		③
C	②	③	

<2ブロック>

	D	E	F
D		④	⑤
E	④		⑥
F	⑤	⑥	

<3ブロック>

	G	H	I
G		⑦	⑧
H	⑦		⑨
I	⑧	⑨	

<4ブロック>

	J	K	L
J		⑩	⑪
K	⑩		⑫
L	⑪	⑫	

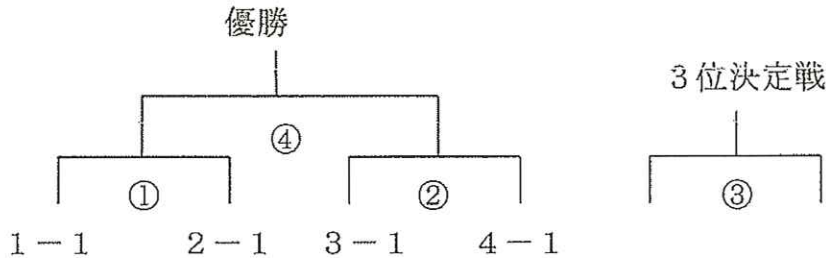
- 1ブロックは、全試合Aコート
- 2ブロックは、全試合Bコート
- 3ブロックは、全試合Cコート
- 4ブロックは、A・B・C全てのコートで試合を行う

<試合順>

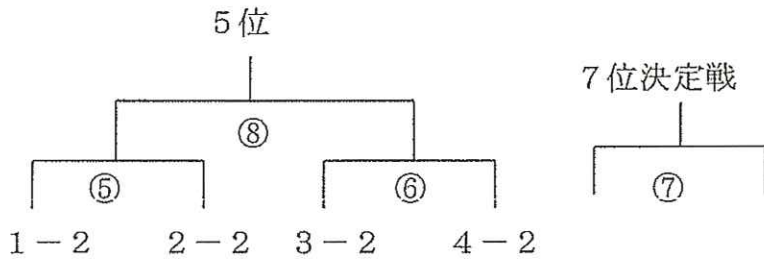
	Aコート	Bコート	Cコート	開始時間
第1試合	①	④	⑦	10:15
第2試合	⑩	⑤	⑧	10:45
第3試合	②	⑪	⑨	11:15
第4試合	③	⑥	⑫	11:45

■決勝トーナメント

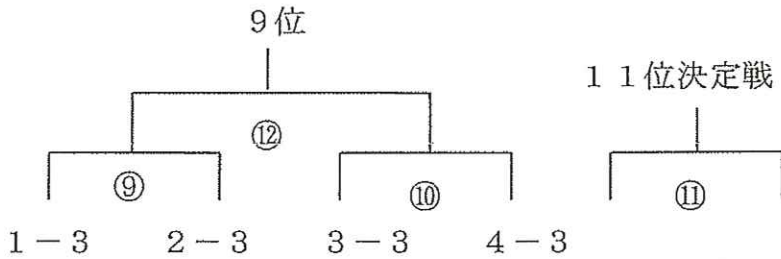
○決勝トーナメント (Bコート)



○5位～8位決定トーナメント (Aコート)



○9位～12位決定トーナメント (Cコート)



\* 1-1とは、リーグ1の1位のことである 例→3-2 リーグ3の2位

<試合順>

	Aコート	Bコート	Cコート	開始時間
第1試合	⑨	⑨	⑨	13:15
第2試合	⑥	②	⑩	13:45
第3試合	⑦		⑪	14:15
第4試合	⑧	⑫	⑬	14:45
第5試合		④		15:15

第 68 回 近畿児童福祉施設スポーツ大会  
『京都市大会』フットサル競技規則

別紙 3

1. 初めに

- ・試合はフットサル競技規則に準じ、本規定により審判の指示、進行によって競技を行う。
- ・1次ラウンドにて同位の場合は、下記の方法にて勝敗を決する。
  - ① 勝ち点（勝ち3 引き分け1 負け0）の合計が上位のチーム
  - ② 総得失点差で、得点が多いチーム
  - ③ 総得点が多いチーム
  - ④ 当該チームの勝敗
  - ⑤ 代表者によるクジ
- ・決勝トーナメントで同点の場合、延長戦は行わず5人対5人のPK戦にて勝敗を決める。

2. 競技場

- ・縦32m×横16m

3. ボール

- ・フットサル専用ボール（3号）を使用する。

4. ゴール

- ・現地備品ハンドボール用ゴールを使用する。（高さ2M 幅3M）

5. 用具

- ・試合時の服装はユニフォーム又は体操服とし、参加登録しているゼッケン及びレガースを着用する事。（ビブスは用意します。）
- ・フットサル専用シューズ、トレーニングシューズ又は室内用運動靴の着用とする。
- ・スパイクシューズの着用は不可とする。
- ・ゴールキーパーは、キーパーグローブ又は、軍手等の手袋を着用する事。
- ・眼鏡の着用については、ルール上は禁止である。  
(審判並びに試合を行う当該チームが認めた場合、着用の許可をする場合がある)  
※ゴーグルもしくはスポーツメガネの着用を推奨します

6. 審判

- ・主審1名、第二審判1名（主審と同じ権限を持つ）の2名で行う。

7. 競技時間

- ・前後半14分。（前半7分、後半7分）ハーフタイム5分。原則ランニングタイムで行う。

## 8. 競技の開始について

- ・エンド選択は、選手代表者が参加し、審判によるコイントスで決定する。  
※PK戦のコイントスで選択の優先権を得たチームが、先行か後行を選べる
- ・ボールを前方に蹴ることによりインプレーとなる。

## 9. 人数

- ・1チームにつき出場する選手は5名（ゴールキーパー[ユニフォームが違う選手]含む）。
- ・選手は許可なくいつでも交代ゾーンから自由に交代できる。  
但し、ピッチ内にいる選手が完全に外に出てから交代選手が入らなければ、ピッチ内に選手が6名となり先に入場した選手がイエローカードとなる。

## 10. キックイン

- ・ボールがタッチラインを越えた時、スローインではなくキックインで再開する。ボールをライン上（手前25cm内でも可）において静止させ、蹴る際の軸足はラインを踏んでも良いが、越えてはならない。違反した場合は相手チームのキックインとなる。  
（キックイン時の反則も可能な限り厳密にとるものとします。）

## 11. 危険行為と退場について

- ・ルーズボールやパスコースへのスライディングは反則にならない。ゴールキーパーがペナルティエリア内でセービングの為にスライディングタックルも反則にならない。
- ・レッドカード又は、イエローカード2枚で退場になった場合、交代選手は2分経過後に審判の了承を得て入る事が出来る。それまでは、退場となった選手の補充は出来ない。又、その2分間に人数の多いチームが得点を入れた場合、人数の少ないチームは2分を待たずに交代選手を入れる事が出来る。  
退場となった選手はベンチに残る事が出来ず、速やかにピッチから離れなければならない。
- ・ラフプレー、審判や選手への暴言等に対しては厳しく対処する。  
（暴言については選手のみならず監督・コーチも対象となりますので留意して下さい。）

## 12. フリーキック

- ・反則があった場合、相手チームに直接フリーキック又は間接フリーキックが与えられ、反則を犯したチームの選手はボールから5M以上離れなければならない。

## 13. ゴールキーパーについて

- ・相手チームが触ったボールが自陣のゴールラインを割った場合は、ゴールキーパーからのスロー（ゴールクリアランス）で再開される。
- ・ゴールキーパーが手で投げた後、又は足で蹴った後、ボールが相手競技者に触れるか、プレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェイラインを越えた時は相手チームに間接フリーキックを与える。

- ・ゴールキーパーは自陣で手や足を使って味方にパスをした後は、ボールがハーフウェイラインを越えるか相手選手に触られる前に味方からパスを受けると、バックパスの反則となりボールを受けた地点からの間接フリーキックとなる。ペナルティーエリア内で同反則をした犯した際はペナルティーエリアラインからのフリーキックとなる。

#### 14. 4秒ルール

- ・キックイン、フリーキック、コーナーキック等のリスタート、ゴールキーパーのプレーは4秒以内に行わなければ相手ボールのキックイン及び間接フリーキックとなる。
- ・相手選手が5M以上離れていてボールを蹴る事ができる状態になった時からカウントが始まる。

#### 15. U-15の試合での特例

- ・キックオフから直接ゴールイン出来ない。  
ゴールインした場合、得点は認められず相手ゴールキーパーからのスローで再開される。
- ・ゴールキーパーからのスローイン、もしくはパントキックがノーバウンドでハーフウェイラインを越えた場合、ハーフウェイライン上から相手チームの間接フリーキックとなる。  
※インプレー中のGKからのキックがハーフウェイラインを越えた場合も同様である

#### 16. その他

- ・試合規定を変更する必要がある場合は主催者協議の上決定する。
- ・審判の判定等に異議申し立てする事は出来ない。

## ■早わかりフットサルのルール！（参考資料）

フットサルはサッカーに似たスポーツですが、「4秒ルール」「キックイン」「ゴールクリアランス（ゴールキーパーズロー）」など、サッカーとは違った独特のルールがあります。

又、サッカーには「オフサイド」がありますが、フットサルには「オフサイド」がありません。

サッカー経験者の方はフットサルとサッカーの違いを理解する事で、フットサルを始めたばかりの人はルールを覚える事で、プレーする際の戸惑いが無くなり、ゲームの進行がスムーズになります。

ルールをよく理解して、フェアでスムーズなゲーム進行をし、安全且つ楽しくプレーしましょう。

### 【4秒ルール】

フットサルには、ゲームをスピーディーに進行する為に、4秒ルールという特殊なルールがあります。

キックイン、コーナーキック、フリーキック、ゴールクリアランス（ゴールキーパーズロー）などの試合を再開するプレーを、プレーする準備が出来てから4秒以内にプレーしないと、相手ボールになってしまいます。

但し、4秒ルールは、ペナルティキック、キックオフには適用されません。

### 【キックイン】

ボールが、ピッチの両側に描かれたタッチラインを越えて外へ出た場合、サッカーではスローイン（ボールを投げる）でプレーを再開しますが、フットサルではキックイン（ボールを蹴る）でプレーを再開します。

#### ※キックインの注意事項

1. ボールがタッチラインを超えた地点、又はピッチ外で、その地点から25cm以内の場所から蹴る。
2. ボールを静止させてから蹴る。
3. ボールを蹴る準備ができてから4秒以内に蹴る。
4. ボールを蹴る時の軸足（蹴る足と違う足）は、タッチラインを越えてピッチの内側に入ってはならない  
（軸足がタッチラインの外側にある場合、又は軸足の一部がタッチラインを踏んでいる場合はOK）
5. キックインから直接ゴールする事は出来ない（他のプレーヤーに当たった場合はOK）
6. 守備をするチームの人は、キックインをする場所から5m以上離れなければならない。
7. キックインする人と同じチームの人は5m以内にいてもOK。
8. キックインした人は、誰か他の人がボールに触るまで、ボールに触れる事は出来ない。

## 【ゴールクリアランス（ゴールキーパースロー）】

ボールが、ピッチの両端に描かれたゴールラインを越えて外へ出た時、ゴールを攻めていたチームの人が最後にボールに触った場合、守っていたチームのゴールクリアランス（ゴールキーパースロー）でプレーを再開します。

サッカーではゴールキック（ボールを蹴る）でプレーを再開しますが、フットサルではゴールクリアランス（ボールを投げる）でプレーを再開します。

### ※ゴールクリアランスの注意事項

1. ゴールクリアランスを行う準備ができてから4秒以内に行う。
2. ゴールクリアランスから直接ゴールする事は出来ない。
3. ゴールクリアランスしたゴールキーパーは、誰か他の人がボールに触るまで、ボールに触れる事は出来ない。
4. ボールは、守備側チームのゴールキーパーによってペナルティーエリア外に直接投げ出された時、インプレーとなる。
5. ゴールクリアランスをするゴールキーパーと同じチームの人は、ペナルティーエリア内でゴールクリアランスされたボールを受ける事は出来ない。
6. ゴールクリアランスをするゴールキーパーの相手チームの人は、ペナルティーエリア内でゴールクリアランスされたボールに触ったり、妨害するなど、ゴールクリアランスに干渉する行為をしてはならない。

## 【GKへのバックパス（リターンパス）】

ゴールキーパーがプレーしたボールは、相手プレーヤーが触れなければ、ピッチの自分自身のハーフ内で、キックやヘディングだけでなく、胸や肩などあらゆる部位によるパスでも、意図的に戻す事（バックパス）は出来ません。

### << ちょっと一言 >>

ゴールキーパーがボールを一旦リリースした後に再び触れる場合について、2010年フットサル競技規則の改正で“ボールがハーフウェーラインを越える”という条件が無くなり、ボールが相手プレーヤーに触れない限り、ゴールキーパーが自分自身のハーフ内で再びボールに触れることが出来なくなりました。

この改正により、パワープレーでも、ゴールキーパーは相手ハーフにいない限りパス交換ができなくなり、時間稼ぎや無駄なパス回しが排除され、よりスピーディーなゲームの進行が可能になりました。

## 【選手交代】

フットサルでは、選手の交代は何時でも自由にする事が出来ます。キックインやゴールクリアランスなどでプレーが中断されるのを待つ必要もありませんし、審判の許可も必要ありません。

交代は最大10人まで許されており、一度ベンチに下がった選手も再び出場する事が出来ます。交代は自陣の交代ゾーンで行います。但し、ピッチを出るプレーヤーが完全にタッチラインを越えて外に出るまで、ピッチに入るプレーヤーはタッチラインより内側に入る事は許されません。

<< ちょっと一言 >>

交代したのではなく、負傷の治療や用具の交換の為にピッチから離れたプレーヤーの競技への復帰方法は、ボールがピッチの外に出ているアウトオブプレー中か、ピッチの外に出ていないインプレー中かで異なります。

アウトオブプレー中なら自由にピッチに戻ることが出来ますが、インプレー中は審判の管理の下においてのみ、ピッチに戻ることが出来ます。

## 【反則】

反則内容と反則を犯した場所によって、直接フリーキック、間接フリーキック又はペナルティーキックが相手チームに与えられます。

### 【直接フリーキック】

直接フリーキックは反則行為が行われた場所から行います。  
直接フリーキックが直接ゴールに入った場合は、得点として認められます。

「プレーヤー」が以下の様な反則を不用意に、無謀に、又は過剰な力で犯したと審判が判断した場合、直接フリーキックが相手チームに与えられます。

1. 相手を蹴る行為 (キッキング)
2. 相手をつまづかせる行為 (トリッピング)
3. 相手に飛びかかる行為 (ジャンピングアウト)
4. 相手をチャージする行為 (チャージング)
5. 相手を打つ、叩く行為 (ヒッティング)
6. 相手を手や腰で押す行為 (プッシング)
7. 相手にタックルする行為 (タックル)
8. 相手を手や体で抑える行為 (ホールディング)
9. ボールを手や腕で意図的に扱う行為 (ハンド)



## << ちょっと一言 >>

2010年フットサル競技規則の改正で、直接フリーキックに値する反則については、サッカーと全く同じになり、スライディングタックルも“不用意に、無謀に、又は過剰な力で”行わない限り、認められる様になりました。しかし、全国各地のフットサルコート主催の大会でも「安全の為、スライディングタックルは今まで通り禁止とする」等、競技規則とは違った独自のルールを適用している大会もあります。怪我をしない様に、事前にルールを決め、安全に楽しくプレーしましょう。

### 【間接フリーキック】

間接フリーキックは反則行為が行われた場所から行います。

間接フリーキックが直接ゴールに入った場合は、得点として認められません。

「ゴールキーパー」が次の4項目の反則を犯した場合、間接フリーキックが相手チームに与えられます。

1. ピッチの自分自身のハーフ内で、4秒を超えてボールを手や腕、又は足でコントロールする
2. ボールをプレーした後、相手プレーヤーがプレー、又は触れていないにも関わらず、ピッチの自分自身のハーフ内で、味方プレーヤーによって意図的にキックやヘディング等されたボールに再び触れる
3. 自分自身のペナルティーエリア内で、味方プレーヤーによって意図的にキックやヘディング等されたボールを直接手、又は腕で受ける
4. 自分自身のペナルティーエリア内で、味方プレーヤーがキックインしたボールを直接手、又は腕で受ける

「プレーヤー」が次の項目の違反を犯したと審判が判断した場合、間接フリーキックが相手チームに与えられます。

1. 相手が近くにいる時に、足を高くあげる（ハイキック）など、相手プレーヤーの前で、危険な方法でプレーする
2. 相手競技者の進行を妨げる（オブストラクション）
3. ゴールキーパーがボールを手、又は腕から放すのを妨げる
4. 相手プレーヤーに対して犯した場合直接フリーキックで罰せられることになる反則を、味方プレーヤーに対して犯す
5. その他、審判が警告する、又は退場させる為にプレーを停止することになる違反を犯す行為

## 【ペナルティーキック】

守備をするプレーヤーが、自分のペナルティーエリア内で直接フリーキックとなる反則をした場合、ペナルティーキックが相手チームに与えられます。

ペナルティーキックは、ペナルティーマークから行います。

※ ペナルティーキックの注意事項 ※

1. ボールは、ペナルティーマークの上に置く。
2. 守備側のゴールキーパーは、ボールが蹴られるまでゴールライン上に留まる。
3. キッカー以外のプレーヤーは、ボールから5m離れる。
4. ペナルティーキックをした人は、誰か他の人がボールに触るまで、ボールに触れる事は出来ない。

>>ルールをもっと詳しく知りたい方はコチラを検索してください！！

【参考文献】



日本サッカー協会. “フットサル競技規則.” 日本サッカー協会.